

未来投資会議（第8回）後の
石原経済再生担当大臣記者会見要旨

- 日 時 : 平成29年5月12日（金）18:35～18:40
- 場 所 : 中央合同庁舎8号館1階S101・103 会見室

1. 冒頭発言

第8回「未来投資会議」の概要を申し上げます。

本日は、第4次産業革命の推進に向けた諸課題と、公的資産・サービスの民間開放について議論しました。

まず、中西議員から、日本には3つの強みがある、すなわち、豊富な医療介護データや車の走行データ、ものづくりの力、少子高齢化などの社会課題の先進性。この強みを生かせる戦略分野に政策資源を集中投入すべきとの御提言がありました。

次に、金丸議員から、AI・ロボットにより従来型の仕事が減る一方、新たな雇用ニーズも創出することから、IT技能をコアとした人材力の抜本的強化が不可欠である。生涯にわたってITを使いこなす力を更新できるように、個人の学び直し、リカレント教育だと思いますが、そういうものの支援を充実させるべき等々のご提言がありました。

続いて竹中議員から2点御提言がありました。まず最初ですが、イノベーションの成果を社会実装するために、試行錯誤のための実験・実証を積み重ねることが不可欠である。限定された参加者・期間において、「まずはやってみる」という、いわゆる日本版レギュラトリー・サンドボックス制度を、サンドボックス特区とは別に創設すべきとの御提言がありました。ふたつ目ですが、PPP/PFIに関連して、公的資産の民間開放については、空港・道路の先行的な成功事例を、スポーツ施設など他の有望分野に広げつつ、本格的に展開していくべきとの御提言がありました。

その後、総理から発言がございました。本日の議論の結果、第4次産業革命の戦略分野へ政策資源を集中投入すること、人材力の抜本的強化、いわゆる日本版レギュラトリー・サンドボックスの創設等の政策について、大きな一歩を踏み出すことができたというような御感想を述べていらっしゃいました。

本日の会議のポイントについて、私から以上です。

2. 質疑応答

- (問) 本日成長戦略の骨子案が示されました。今回の成長戦略のなかで、柱というか、ポイントとなるところはどのあたりになるか、大臣のお考えをお聞かせください。

(答) これは昨年の9月からずっと議論をしてきて、当時は何だと言われていた Society 5.0 という一言に尽きるのではないかと思います。これは人工知能や、IoT やビッグデータなどというイノベーションは、今までにない形で、人や製品を繋げていくことがポイントで、繋げていくことによって新しい価値が生まれて、これまで解決できなかった問題も解決できるようになる。この言葉も総理も率先して使っていただきまして、この Society 5.0 を社会実装、これも最初は聞き慣れない言葉であったと思うのですが、生活に役立てるということで、世界に先駆けて実現していくことで、超スマート社会を目指したい。一言でいうのであれば、このように括ることができると思います。